

さっぽろの“いま”を伝え、未来につなげる

さっぽろ 市議会だより

令和7年 8月 夏

2025 8

第2回 定例会

(5月21日～6月10日)

令和7年度の補正予算などを
審議しました

- 可決した主な議案 1
- 可決した主な意見書 2
- 永年勤続議員へ表彰状を伝達 2
- 市政を問う！代表質問から 3
- 本定例会の議決結果一覧 7
- 札幌市議会からのお知らせ 8
 - ・ 議会を傍聴してみませんか？
 - ・ 第3回定例会審議日程
- 調査特別委員会委員名簿 9
- 札幌市公式 LINE で
「市議会からのお知らせ」を配信 9
- 議員の資産などを公開しています 9

No.147

表紙
「サッポロさとらんど」

令和7年度の補正予算などを審議しました

令和7年第2回定例会では、令和7年度補正予算や「札幌市図書館条例の一部を改正する条例案」などの議案34件、諮問1件、意見書8件などを全会一致または賛成多数で可決しました。

可決した主な議案 ～補正予算～

以下の経費など、全会計総額19億100万円を増額する補正予算を可決しました。

■ 学校給食など食材高騰対策 (5億2,600万円)

物価高騰に対応するための臨時交付金が、国から追加で支出されることを踏まえて、食材費高騰の影響を大きく受けている学校給食で、保護者の負担を据え置くにために必要な経費を追加するもの



献立の一例(小学校)

■ 定山溪地区 自動運転バスの実証実験 (1億400万円)

定山溪温泉街域内の移動の利便性や観光客の周遊性向上を図るため、自動運転バスを導入し、その効果を検証するための経費



■ 大規模下水道管路の特別重点調査 (6億6,400万円)

埼玉県八潮市^{やしお}で発生した道路陥没事故を契機とした大規模な下水道管路の特別重点調査に係る経費

可決した主な議案 ～条例案～

札幌市図書館条例の一部を改正する条例案

「(仮称) こども本の森」を設置するもの

建築家の^{あん どう ただ お}安藤忠雄氏が代表を務める安藤忠雄建築研究所が、北海道大学の構内に建築する子ども向けの図書施設「(仮称) こども本の森」を子どもたちの自主的な読書活動の推進を目的とした市立図書館として設置し、指定管理者による管理を可能とするための条例案です。



その他の議案および議決結果は、7ページのほか市議会ホームページに掲載しています。

地方消費者行政の拡充・強化を求める意見書

国はこれまで、増加する消費者トラブルによる被害に対応するため、地方消費者行政強化交付金などを交付し、地方公共団体の相談体制を下支えしてきましたが、消費者行政推進事業に対する同交付金の交付は、2027年度に交付終了となる見込みであり、地方公共団体の相談体制が後退する恐れがあります。

また、消費者団体の活動支援や、消費生活相談情報を収集・蓄積する全国消費生活情報ネットワークシステム(PIO-NET)の刷新などは、地方公共団体のためだけでなく、国が行う消費者行政に必要不可欠にもかかわらず、国による財政措置がなく、地方公共団体の財政に影響を与えています。

そこで、国会および政府に対し、次の事項を速やかに実施するよう求めます。

- ①地方消費者行政推進事業に対する地方消費者行政強化交付金の交付期限を延長すること。
- ②国の行政機能を補完する消費者行政に係る費用については、地方財政法第10条を改正し、国による恒常的な財政措置を講じること。
- ③PIO-NETの刷新および消費生活相談のデジタル化により地方公共団体に生じる費用については、国が責任をもって財政措置を講じること。

上記を含む可決した8件の意見書の全文は、市議会ホームページ(<https://www.city.sapporo.jp/gikai/html/ikensho.html>)に掲載しています。



▲意見書

永年勤続議員へ表彰状を伝達

6月10日、本会議場で永年勤続議員への表彰状伝達式が行われました。これは、5月20日に開催された全国市議会議長会定期総会で、市議会議員の在職が30年以上となった議員が特別表彰を、10年以上となった議員が一般表彰を受けたことによるものです。表彰された議員は次のとおりです。



▲3人の議員を代表して、長内議長から表彰状を受け取る小野議員(右)

在職30年以上 (3人)

小野正美議員
勝木勇人議員
高橋克朋議員
(五十音順)

在職10年以上 (11人)

池田由美議員	田中啓介議員	水之上美華議員
太田秀子議員	中川賢一議員	村松叶啓議員
川田ただひさ議員	松井隆文議員	村山拓司議員
かんの太一議員	松原淳二議員	

(五十音順)



▲11人の議員を代表して、長内議長から表彰状を受け取る太田議員(右)



市政を問う! ～代表質問から～

5月29日と30日の2日間

本会議では、4人の議員が各会派を代表して、市政について代表質問を行いました。その主な質問と答弁は次のとおりです。

録画映像はこちら▶



自由民主党

やま だ いちろう
山田 一郎 議員

北海道新幹線(新函館北斗・札幌間)に関する今後の取り組み

Q 北海道新幹線の効果は、札幌まで延伸されてこそ最大限に発揮されるものです。

北海道新幹線の完成・開業に大幅な遅れが生じる見通しとなったことは、人の流れの変化や経済効果発現の時期の遅れに直結し、開業により生じるはずであった機会や利益の損失が極めて大きくなると考えます。開業の遅れによる、まちづくりへの影響を最小限に抑えるために、今後どのように取り組めますか。

市 北海道新幹線の完成・開業が大幅に遅れることで、観光やビジネスなどさまざまな分野の経済波及効果の発現が先送りとなることに加え、都心の再開発事業や民間投資の機運低下につながる恐れもあり、まちづくりへの影響を抑えることは極めて重要と認識しています。そのため、本年4月、国に一日も早い完成・開業や新たな地方負担を生じさせない措置などを緊急要望しました。今後、再開発の支援など、開業時期にかかわらず進めるべき取り組みを推進するとともに、開業の遅れの影響を具体的に把握した上で必要な対応を検討し、国の支援を強く要望していく考えです。



JR札幌駅工事の様子

丘珠空港の機能強化

Q 本市は、2022年度に「丘珠空港の将来像」を策定し、滑走路延伸の2030年供用開始を含む丘珠空港の機能強化について、関係機関と連携しながら、国への要望活動や検討会での議論を積み重ねてきました。このような中、国の本年度予算で丘珠空港の機能強化に向けた調査費が計上されたことは、滑走路延伸の事業化に向けた動きを加速させるものと考えます。そこで、国の調査や検討に連動して、さまざまな事業主体が関わる丘珠空港全体の機能強化を、本市が先導して計画的に取り組むべきだと考えますが、国に対して今後どのような姿勢で取り組みますか。また、空港ターミナルビルや駐車場などの機能強化も、早期実現に向けて取り組みを加速させるべきだと考えますが、いかがですか。

市 延伸する滑走路の2030年供用開始に向けて、国による調査や検討が着実に進められ、早期の事業化につながる事が最も重要と認識しています。国との協力体制を築き、北海道や航空会社など関係機関との連携や、市民との情報共有などが円滑に進められるように、積極的に役割を果たしていく考えです。また、滑走路延伸を想定した空港ターミナルビルや駐車場の拡張などの機能強化については、将来の空港利用者の増加を見据えて、国などの関係機関と連携・協議し、本年度内に方向性が示せるように検討を進めたいと考えています。

札幌北広島環状線の整備

Q 札幌北広島環状線は、道央都市圏内の産業連携軸の機能を担う主要な幹線道路です。現在、屯田・茨戸通の工事は盛んに進められていますが、江別市と本市を結ぶ区間は、いまだに整備されていません。この未整備区間は、札幌北広島環状線の中でも重要な連携道路であり、整備が進むことで産業拠点が連結し、渋滞が課題となっている国道275号などの周辺交通の円滑化や物流の効率化につながる事が期待されます。また、冬期間も重層的にルートが確保されて、速達性や定時性の向上も見込まれます。現在整備が進められている屯田・茨戸通の開通の見通しと未整備区間の道路整備に向けて、今後どのように取り組んでいきますか。

市 2012年から整備を進めている屯田・茨戸通は、本年度でおおむね工事が完了し、来年夏ごろの供用開始を見込んでいます。また、札幌市と江別市を結ぶ未整備区間のうち、江別市側は昨年度から北海道が整備に着手しています。札幌市側についても、国の補助事業として来年度の新規採択を強く要望するとともに、北海道と連携しながら早期の事業化に向けて取り組んでいきたいと考えています。

■ 町内会の負担軽減

Q 高齢化や担い手不足に直面する町内会にとって、各種委員の人選は大きな負担です。また、依頼される委員の種類が多いため、一部の町内会役員が複数の委員を兼務する場合もあり、地域からは委員の業務内容が重複しているという声も寄せられています。地域の状況を考えると、各種委員に関する負担軽減は不可欠であり、設立趣旨や活動内容が重複する委員の職や業務について、統廃合などの整理を検討すべきだと考えますが、いかがですか。

市 昨年度、ワーキンググループを設置し、八つの委員について、推薦事務の簡素化や業務内容の見直しを行いました。今後は、検討対象とする委員を拡大して、地域に依頼している市以外の機関にも働きかけ、各種委員の業務内容や類似性などを調査するとともに、地域の声を聞きながら負担軽減の効果を感じてもらえるように、幅広く改善に取り組めます。



民主市民連合

しの はら

篠原 すみれ 議員

■ 道路の陥没対策

Q 本年2月に清田区で発生した道路陥没事故は、原因がいまだに特定されず、市民から再発や道路の安全性を懸念する声が寄せられています。膨大な地下インフラが埋設されている本市

では、今後、老朽化したインフラ割合が増加していくことを踏まえ、道路管理者と地下占用事業者が連携し、道路の陥没を未然に防ぐための対策を一層強化して、加速させる必要があると考えますが、道路の陥没対策についてどのように取り組みますか。

市 本市では、地下インフラに起因する道路の陥没を未然に防ぐため、計画的な維持・修繕や路面下空洞調査を実施しているほか、緊急措置が必要な場合は速やかに予算や実施体制を確保しています。一方、老朽化したインフラの急増や建築業の担い手不足が続く中、各施設の管理者が連携して効率的にメンテナンスを進めることも重要と考えます。各施設の管理者が持つ情報やノウハウを基にリスクを総合的に評価し、点検・修繕計画を見直すことで損傷の早期発見につなげるなど、陥没対策の充実を図っていきます。



本年2月、清田区で発生した道路陥没発見状況

■ 子ども・若者への支援

Q 生きづらさを抱え居場所を求める子どもや若者には、彼らに寄り添い包括的に支える取り組みが必要です。そのため、置かれている環境や抱える事情など、彼らを取り巻く状況を把握し、必要な支援や取り組みを検討すべきだと考えます。本市では、子どもや若者を取り巻く現状をどのように認識し、今後どのように取り組んでいきますか。

市 生きづらさを抱え、誰にも相談できずにいる子どもや若者が少なからずいる中で、誰もが安心できる居場所を見つけて生活できるように、社会全体で支えていかなければならないと認識しています。これまでも「さっぽろ子ども・若者支援地域協議会」のネットワークを活用し、複合的な問題を抱えた子どもや若者の支援に取り組んでいますが、今後、民間団体とも連携して、支援の輪を広げながら、社会全体で全ての子どもや若者の健やかな成長を支えていきたいと考えています。

■ 中小企業の事業承継支援

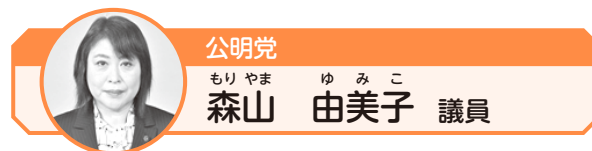
Q 後継者の不在で中小企業などの休廃業が増加しており、雇用や技術への影響が懸念されています。事業承継は、従業員の雇用や生活を守り、技術力や設備を次世代につなげ、持続可能な地域経済の構築に寄与するものです。そのため、本市として、地域経済を支える中小企業の事業承継への課題認識をしっかりと持ち、自治体にできる役割を担っていくことが重要です。本市が事業承継を行う意義と、今後の方向性をどのように考えますか。

市 事業承継は、自治体が積極的に支援を行うことで、第三者への事業承継が広く認知され、後継者や事業継続に対する経営者の意識が高まると考えています。本市では、特に民間の支援が届きにくい小規模事業者を対象に支援を行っており、今後は、事業承継を検討していなかったり、廃業を考えていたりする経営者にも積極的に働きかけ、さまざまなノウハウや技術の承継、雇用の確保につなげたいと考えています。

■ 「食」のさらなるブランド化

Q 本市は「食」が魅力の一つですが、他の自治体も食に関する取り組みを進めており、付加価値を高めて差別化を図る必要があります。そのため、国内外の「食」に関わる人や企業を引きつける魅力や環境を構築・整備して、付加価値を高める必要がありますが、「食」のさらなるブランド化に向け、どのように取り組みますか。

市 「食」をテーマとする映画などの映像を活用して、北海道・札幌の「食」の魅力を国内外に広く発信するほか、観光やITなど異なる分野の事業者や教育・研究機関などとの関係性を構築し、官民連携による技術革新の場を創出していきます。こうした取り組みにより、食や観光などさまざまな産業に波及効果を生み出すことで、地域の特性を生かした「美食のまち・さっぽろ」のブランド化を積極的に進めていきます。



■ さっぽろ農業の未来と可能性

Q 次期「さっぽろ都市農業ビジョン」では、農業者と企業が連携して、札幌産農産物の付加価値を高め、魅力アップにつなげることが重要です。さっぽろ農業が「食のまち」札幌の強みを生かし、本市の経済と観光を支える、より魅力ある産業に発展するためには、若い生産者が、積極的に農業に取り組む環境を作り上げる視点が必要だと考えます。次期ビジョンでは、未来に向けたさっぽろ農業の可能性と魅力アップについて、どのような展望を持っていますか。

市 さっぽろ農業のさらなる魅力アップには、大消費地に近い札幌の強みを生かすことが必要であり、市民理解を深めることが重要です。そこで、農家レストランなど6次産業化支援の継続や札幌産農産物のPR強化などに取り組むほか、スマート農業の検討など、持続可能な農業経営に向けた施策を次期ビジョンに反映させ、未来に向けたさっぽろ農業の発展につなげていきます。

■ 魅力的な健康アプリの導入

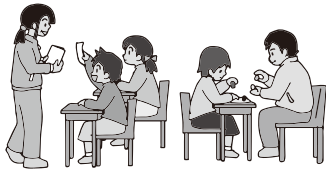
Q 来年度から健康アプリが導入されますが、使い方などに不安がある市民にも、制度の魅力や意義を分かりやすく伝えることで、健康づくりへの関心が高まると考えます。そこで、健康アプリの仕組みや魅力を市民にどのように伝えますか。また、多くの方が楽しく前向きに参加できるようにするために、どのように取り組みますか。

市 健康アプリは「歩く」「健康管理」「人と会う」といった日常的な活動を見える化し、健康行動の習慣化と健康寿命の延伸を目指すものです。身近な活動が幅広くポイントの対象となることや、日常生活に新たな楽しみが加わることで大きな魅力であることから、広報や啓発イベントなどで積極的にアプリの魅力を伝えていきます。また、市民モニターの意見を取り入れて改善を重ねたり、企業などと協働して新たな交流や活動につなげることで、市民が気軽に参加し、楽しく利用できるアプリになるよう取り組んでいきます。

■ 特別支援学級の支援・指導の充実

Q 特別支援学級に在籍する児童生徒数は増加しており、さまざまな障がいに応じた柔軟な支援体制の構築が求められています。そのため、将来の進路先なども見据えて、障がいの特性などに応じた教育課程を編成することや、支援や指導方法のさらなる充実が大変重要になります。障がいのある子ども一人一人に寄り添う教育の実現に向けて、本市の特別支援学級の課題をどう認識し、特別支援学級の支援や指導の充実に向けてどのような取り組みを進めますか。

市 特別支援学級の教員には、障がいに応じた専門性に加え、多様化する進路への指導力が必要となるため、通常学級の教員と連携して、学校全体で特別支援教育を推進することが課題と認識しています。今後は、特別支援学級の教員が通常学級の一部の授業を行うことや、新設する進路支援の研修などにより、指導力の向上を図ります。加えて、管理職のリーダーシップの下、特別支援教育を学校全体で進めることで、障がいのある子ども一人一人に寄り添う教育の実現に向けて取り組んでいきます。



日本共産党

よしおか ひろこ
吉岡 弘子 議員

■ 新厚別ふれあい循環バスの継続に関する認識と持続可能な支援

Q 「新厚別ふれあい循環バス」は、本市の地域交通支援制度を活用しており、目標の収支率に未達であれば、廃止も含めて検討することとされています。これでは、持続可能な交通ネットワーク維持のための地域交通が継続できなくなると危惧していますが、本循環バスの継続についてどのように認識していますか。また、収支率が達成できないから廃止するのではなく、財政支援など持続可能な地域交通となるための支援を行うべきだと考えますが、いかがですか。

市

「新厚別ふれあい循環バス」は、地域交通支援制度を適用した初の事例であり、地域主体の取り組みとして、実証運行を経て本格運行に至ることが望ましいと考えています。運行継続のために、地域住民にしっかりと寄り添い、利用促進や協賛金の獲得など、取り組みへの支援を継続していきます。

■ 在宅医療の市民への情報提供と将来の需要

Q 在宅医療の需要の増加が見込まれる中、自宅で生活する高齢者が安心して暮らすための在宅医療や訪問看護は、ますます重要になりますが、制度の内容が十分に知られていません。在宅医療について、市民への情報提供をどのように行っていますか。また、在宅医療の将来の需要をどう見込んでいますか。

市

在宅医療では、急変時の往診などさまざまな医療サービスが受けられることを広く知ってもらう必要があると認識しており、講演会の実施やガイドブックの配布、ホームページでの周知などで市民への情報提供に努めています。在宅医療の本市の将来需要は、2029年に患者数が24,000人に達する見込みです。

■ 学校給食の今後の検討の在り方

Q 学校給食の在り方については、経費削減など民間業者の視点だけでなく、食育など教育的観点を優先して、本市が責任を持って検討すべきです。市民に検討状況を広く周知し、教職員や児童生徒なども含めた市民意見を取り入れるべきだと考えますが、いかがですか。

市

給食室の老朽化や調理・配送の担い手確保などの課題を受け、昨年度、給食提供の持続可能性を探るための調査を実施しました。調査結果を公表し、本年から教職員、保護者、有識者などの意見を伺う会議を設置する予定です。会議の議論を踏まえながら、広く市民意見を取り入れて持続可能な給食提供の検討を行います。



本定例会の議決結果一覧



「議案等一覧」はこちら▶

件 名 (議=議案/諮=諮問/意=意見書案/陳=陳情/報=報告)	結果	各会派の賛否(賛成=○/反対=×)									
		自民	民主	公明	共産	坂元	維新	かずさ	未来	大地	市民ネ
議1～5・31) 令和7年度札幌市補正予算(一般会計(第1号、第2号)/介護保険会計(第1号)/公債会計(第1号、第2号)/下水道事業会計(第1号))	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議6・7・9・10) 条例(等)の一部改正(札幌市職員の育児休業等に関する条例/札幌市税条例/札幌市立学校設置条例等の一部を改正する条例/札幌市図書館条例)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議8) 札幌産業展示場条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議11～21) 工事請負契約締結の件(白石清掃工場1号燃焼ガス冷却設備改修/白石清掃工場蒸気タービン改修/山本通山本跨線橋上部工新設/東消防署新築/琴似小学校改築ほか/琴似小学校冷暖房衛生設備/向陵中学校校舎棟改築ほか/向陵中学校校舎棟冷暖房衛生設備/苗穂小学校改修/西園小学校改修/白石中学校改修)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議22) 駒岡清掃工場更新事業建設工事請負契約締結の件議決変更の件	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議23) 財産の取得の件(GIGAスクール第2期学習者用端末)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議24) 財産の処分の件議決変更の件(住宅団地用地)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議25・26) 和解に関する件	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議27・28) 損害賠償及び和解に関する件	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議29) 町の区域を変更する件	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議30) 市道の認定、変更及び廃止の件	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議32) 監査委員選任に関する件(五十嵐 徳美議員、丸山 秀樹議員)	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議33) 固定資産評価員選任に関する件(生野 祐光氏)	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議34) 北海道公安委員会委員推薦に関する件(小高 咲氏)	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
諮1) 人権擁護委員候補者推薦に関する件	推薦することを 適当と認める	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意1) 地方消費者行政の拡充・強化を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意2) 2025(令和7)年度北海道最低賃金改正等に関する意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意3) 義務教育費国庫負担制度堅持と負担率2分の1への復元などに向けた教育予算の拡充と豊かな学びの実現を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意4) 地方財政の充実・強化を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意5) 性犯罪の再犯防止の取組への支援の強化を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意6) 将来にわたり安全安心な医療・介護制度の提供を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意7) 「これからの高校づくりに関する指針」(改定版)を見直し、すべての子どもに豊かな学びを保障する高校教育を求める意見書	可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
意8) 台湾の国連気候変動枠組条約(UNFCCC※)への参加を積極的に支援するよう求める意見書	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
陳174) 北海道新幹線トンネルの有害掘削土の搬入地である手稲山口処分場の周辺地域住民のため、「粉塵に含まれるヒ素の測定・開示」を求める陳情	不採択	×	×	×	○	×	×	×	×	×	○
報1～8) 令和6年度札幌市緑越計算書(緑越明許費/事故緑越し/病院事業会計予算/中央卸売市場事業会計予算/軌道整備事業会計予算/高速電車事業会計予算/水道事業会計予算/下水道事業会計予算)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
報9～12) 専決処分報告(訴えの提起/調停/損害賠償及び和解/工事請負契約金額変更)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

〔 自民…自由民主党/民主…民主市民連合/公明…公明党/共産…日本共産党/坂元…坂元・荒井/維新…日本維新の会/かずさ…山口かずさ
未来…未来さっぽろ/大地…大地さっぽろ/市民ネ…市民ネットワーク北海道 〕

※UNFCCC：気候変動に関する国際連合枠組条約(United Nations Framework Convention on Climate Change)の略称



札幌市議会からのお知らせ

議会を傍聴してみませんか？ ●本会議編●

1



予約不要
市役所にGO！



本会議場は
市役所にあります。

2



エレベーターで
18階へ



市役所1階
エレベーターホール

3



受付票を記入



エレベーターを降りると、傍聴席入口に記載台があります。記載台にある『傍聴人受付票』に住所と氏名をご記入いただけます。

4



本会議を傍聴



傍聴席には座席107席のほか、3台分の車いす用傍聴スペースがあります。また、事前の申請で手話通訳者を配置できます。

本会議の傍聴は、傍聴人受付票の記載が必要ですが、委員会の傍聴は、受付票の記載が必要ありません。委員会を傍聴する場合は、直接会議室にお越しください。なお、会議日程は、市議会ホームページをご覧ください。議会事務局（議事課211-3166）までお問い合わせください。



▲会議日程

第3回定例会

審議日程

※通常、本会議は午後1時からの予定です

9月24日から10月31日までの会期38日間で開催し、各会派の代表質問は9月29日から3日間の予定です。なお、日程は変更する場合がありますので、事前にご確認ください。

月日	審議日程	
9月24日(水)	本会議	招集日、市長提案説明など
9月29日(月)	本会議	契約案件など議決、代表質問
9月30日(火)	本会議	代表質問
10月 1日(水)	本会議	代表質問、議案付託、決算特別委員会①(副委員長の互選など)
10月 3日(金)		常任委員会
10月 6日(月)	本会議	補正予算など議決
10月 7日(火)		決算特別委員会②(1部:会計室/財政局/議会事務局/選挙管理委員会/人事委員会/監査委員 2部:建設局)
10月 9日(木)		決算特別委員会③(1部:消防局/環境局 2部:病院局/保健福祉局)
10月15日(水)		決算特別委員会④(1部:まちづくり政策局 2部:保健福祉局) ※午前10時から
10月17日(金)		決算特別委員会⑤(1部:危機管理局/総務局/デジタル戦略推進局 2部:農業委員会/経済観光局) ※午前10時から
10月21日(火)		決算特別委員会⑥(1部:市民文化局 2部:交通局/スポーツ局)
10月23日(木)		決算特別委員会⑦(1部:子ども未来局 2部:都市局)
10月27日(月)		決算特別委員会⑧(1部:教育委員会 2部:下水道河川局/水道局)
10月29日(水)		決算特別委員会⑨(討論および採決)
10月31日(金)	本会議	最終日



調査特別委員会委員名簿

大都市税財政制度・DX推進調査特別委員会(22人)

【設置目的】

大都市における税財源の拡充や税財政制度の諸問題の調査、行政のデジタル・トランスフォーメーションに関する施策などについて必要な事項を調査する



中川委員長

中川 賢一 委員長
うるしはら直子 副委員長

勝木 勇人	細川 正人	よこやま 峰子	飯島 弘之
村松 叶啓	藤田 稔人	山田 一郎	しのだ 江里子
村上 ゆうこ	かんの 太一	あおい ひろみ	森 基誉則
國安 政典	丸山 秀樹	森山 由美子	吉岡 弘子
長屋 いずみ	脇元 繁之	米倉 みな子	波田 大専

総合交通政策調査特別委員会(23人)

【設置目的】

さまざまな交通課題に対応するため、都市交通ネットワークに関する施策などについて必要な事項を調査する



好井委員長

好井 七海 委員長
佐藤 綾 副委員長

高橋 克朋	五十嵐 徳美	こじま ゆみ	小竹 ともこ
伴 良隆	松井 隆文	三神 英彦	和田 勝也
福士 勝	ふじわら 広昭	林 清治	おんむら健太郎
篠原 すみれ	小口 智久	前川 隆史	竹内 孝代
太田 秀子	池田 由美	荒井 勇雄	山口 かずさ
成田 祐樹			

新たな都心空間調査特別委員会(21人)

【設置目的】

民間建築物の建て替えの誘導や市有地の利活用、公共施設の整備などを適切に進めるため、関係する施策について必要な事項を調査する



中村委員長

中村 たけし 委員長
小須田 大拓 副委員長

三上 洋右	こんどう 和雄	佐々木 みつこ	北村 光一郎
川田 ただひさ	村山 拓司	山田 洋聡	小野 正美
松原 淳二	たけのうちに有美	水上 美華	定森 光
福田 浩太郎	わたなべ 泰行	熊谷 誠一	小形 香織
田中 啓介	坂元 みちたか	丸岡 守幸	

特別委員会はインターネット配信でご覧いただけます!



▲映像配信

本会議および特別委員会の映像を、市議会ホームページで生中継しています。また、会議のおおむね1週間後に、録画映像の配信をしています。ぜひご覧ください。

札幌市公式LINEで「市議会からのお知らせ」を配信

SAPP
RO

令和6年9月より、無料通信アプリ「LINE」の札幌市公式アカウントで、「市議会からのお知らせ」の配信を始めました。定例会の日程や、「さっぽろ市議会だより」の発行などのお知らせをぜひ受け取ってください!

札幌市公式アカウントの友だち登録が必要です。

SAPP
RO

次のいずれかの方法で登録できます。
★「友だち追加」から「検索」に進み、「@sapp_ro」をID検索して登録
★右のコードをスマホなどで読み取り登録



受信設定が必要です。

SAPP
RO

お知らせの受信には、次の設定が必要です。

1. 札幌市公式アカウントのトーク画面から「受信設定」を開く
2. 配信希望カテゴリで「市議会からのお知らせ」をチェックして送信



議員の資産などを公開しています

「政治倫理の確立のための札幌市議会の議員の資産等の公開に関する条例」に基づいて、議員から提出された報告書を公開しています。

- 資産等報告書
- 資産等補充報告書
- 所得等報告書
- 関連会社等報告書

閲覧時間

午前8時45分～午後5時15分
(土・日曜、祝休日を除く)

閲覧場所

市役所本庁舎16階 議会事務局

お問い合わせ

議会事務局総務課 TEL(011)211-3162



▲議員の資産等公開

札幌市議会ホームページアドレス

<https://www.city.sapporo.jp/gikai/>

